

第6学年 体育科学習指導案

日 時：令和7年11月26日（水）13：35

場 所：板橋区立常盤台小学校 体育館

対 象：第6学年1組 32名

1 単元名 器械運動系領域「跳び箱運動」

2 単元の目標

知識及び技能	跳び箱運動の行い方を理解するとともに、切り替えし系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	跳び箱運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	跳び箱運動の行い方を理解するとともに、切り替えし系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりしている。	自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	跳び箱運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりしている。
学習活動に即した評価規準	①跳び箱運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができる。	①自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 ②課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①跳び箱運動に積極的に取り組もうとしている。 ②学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ③器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ④仲間の考えや取組を認めようとしている。 ⑤互いの服装や髪型、場や器械・器具の安全に気を配っている。

4 研究主題に迫るための手だて

研究主題

自ら学び続ける力を、仲間と共に身に付けていく体育学習
～学びの連続性をめざす授業づくりを通して～

<研究の視点>

(1) 教材配列等を工夫した学習過程

① 6年間の学習内容

学年	1・2年	3・4年	5・6年
領域	器械・器具を使つての運動遊び ア 固定遊具を使った運動遊び イ マットを使った運動遊び ウ 鉄棒を使った運動遊び エ 跳び箱を使った運動遊び	器械運動 ア マット運動 イ 鉄棒運動 ウ 跳び箱運動	器械運動 ア マット運動 イ 鉄棒運動 ウ 跳び箱運動
知識 及び 技能	跳び箱を使った運動遊び 跳び箱を使った運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをする。	跳び箱運動 跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、切開始系や回転系の基本的な技をする。	跳び箱運動 跳び箱運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりする。
思考力 判断力 表現力 等	マットを使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える。	自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える。	自己の能力に適した課題の解決方法の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。
学びに向かう力、人間性等	運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりする。	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりする。	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする。

② 跳び箱運動 技の系統性

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
切り返し系	・踏み越し跳び ・支持でまたぎ乗り、またぎ下り ・支持で跳び乗り、跳び下り ・馬跳び ・タイヤ跳び	・開脚跳び (発展：かかえ込み跳び)	・かかえ込み跳び (更なる発展：屈伸跳び)
回転系		・台上前転 (発展：伸膝台上前転) ・首跳ね (発展：頭はね跳び)	・伸膝台上前転 ・頭はね跳び (更なる発展：前方屈腕倒立回転跳び)

③ 単元の学習過程

	1～3	4～6	7・8
学習の流れ	切り返し系の技に取り組む ポイントを確認し、自分の課題を見いだす 場や練習方法を選んで取り組む	回転系の技に取り組む ポイントを確認し、自分の課題を見いだす 場や練習方法を選んで取り組む	技を選んで取り組む 切り返し系・回転系の技から自分が取り組みたい技を選んで取り組む

(2) 学びのサイクルを生かした授業づくり

板橋区授業スタンダードに則り、一単位時間の授業は「めあての設定」→「課題発見・自力解決・集団解決」→「まとめ・振り返り」の流れで進め、「主体的・対話的で深い学び」を目指す。

① 「めあての設定」

一単位時間の「めあて」だけでなく、単元全体の学習計画を掲示し、児童が単元のゴールをイメージしながら毎時間の学習に取り組めるようにする。また、前時の振り返りから、自分の課題を新たに設定し、本時のめあてに繋がられるようにしていく。

② 「課題発見場面」

課題発見では、切り返し系（開脚跳び、かかえ込み跳び）、回転系（台上前転）の技のポイントを全体で確認し、実際に挑戦してみる。自己の課題を把握し、どのようにしたら技ができるようになるのかを考え、自力解決に繋げていく。この際に、タブレット端末を使用し、自身が取り組んでいる様子の動画を撮影することで、より自己の課題が明確になると考える。

③ 「課題解決場面」

課題解決場面では、トリオのグループで学習をする。切り返し系（開脚跳び、かかえ込み跳び）、回転系（台上前転）の技のポイントが書かれている紙を各グループに配付する。それを基に、グループで技を見合いながら課題を見付けることで、お互いの技の精度を高められるようにしていく。

また、「つまずきと練習方法」の掲示物を活用することで、自己の課題に合った練習方法や場をグループで話し合って選ぶことができる。基本的な技ができない児童には、積極的に活用するよう促していく。

自力解決の場面で技ができている児童には、以下の二つの提案をしていく。

○より技の精度を高める

「もっと膝を伸ばしてみよう」「着地がピタッと止まるにはどうしたらいい？」

○発展技に取り組む

開脚跳び→調整板を入れて「大きな開脚跳び」

かかえ込み→跳び箱を横から縦にする

台上前転→膝を伸ばして「伸膝台上前転」→背中を着かずに跳ねる「首はね跳び」

③ 「まとめ・振り返り」

活動の終わりに、タブレット端末を使用し、自身が取り組んでいる様子の動画を再度撮影する。授業始めに撮影した動画と比較し、自己評価や自分の成長の過程を振り返り、次時の課題に繋げていくようにする。

(3) タブレットを活用した評価活動

① クラスクラウドを活用した評価

一単位時間の学習の始めと終わりに、タブレット端末を使用し、自身が行っている様子の動画を撮影する。撮影した動画は、クラスクラウドに貼り付けることで、同時に2つの動画を比較することができる。自己評価や自分の成長の過程を振り返り、次時のめあてに繋がられるようにしていく。

とび箱運動の記録&振り返り

<めあて>

テキスト入力欄

<今日の振り返り>

テキスト入力欄

始めの動画

動画貼り付け欄

最後の動画

動画貼り付け欄

5 単元と評価の計画

時間		1	2	3 (本時)	4	5	6	7	8
ねらい		切り返し系の技の行い方を理解し、課題の解決の仕方を工夫して、技に挑戦することを楽しむ。			回転系の技の行い方を理解し、課題の解決の仕方を工夫して、技に挑戦することを楽しむ。			切り返し系と回転系の技のどちらかを選択し、課題の解決の仕方を工夫して、技に挑戦することを楽しむ。	
学習内容		1 場や器械・器具の準備をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 準備運動、主運動につながる運動をする。 4 グループで今日の課題を共有する。							
		5 切り返し系の自己のできる技に取り組む。 6 切り返し系の自己の能力に適した技に挑戦する。 7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 8 整理運動、場や器械・器具の片付けをする。 9 集合、健康観察、挨拶をする。			5 回転系の自己のできる技に取り組む。 6 回転系の自己の能力に適した技に挑戦する。 7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 8 整理運動、場や器械・器具の片付けをする。 9 集合、健康観察、挨拶をする。			5 跳び箱運動発表会をする。 6 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 7 整理運動、場や器械・器具の片付けをする。 8 集合、健康観察、挨拶をする。	
評価の重点	知・技	①		②	①		②		②
	思・判・表		①	①		②			
	主体的	③⑤					④	①	

6 本時の学習（3／7）

（1）本時の目標

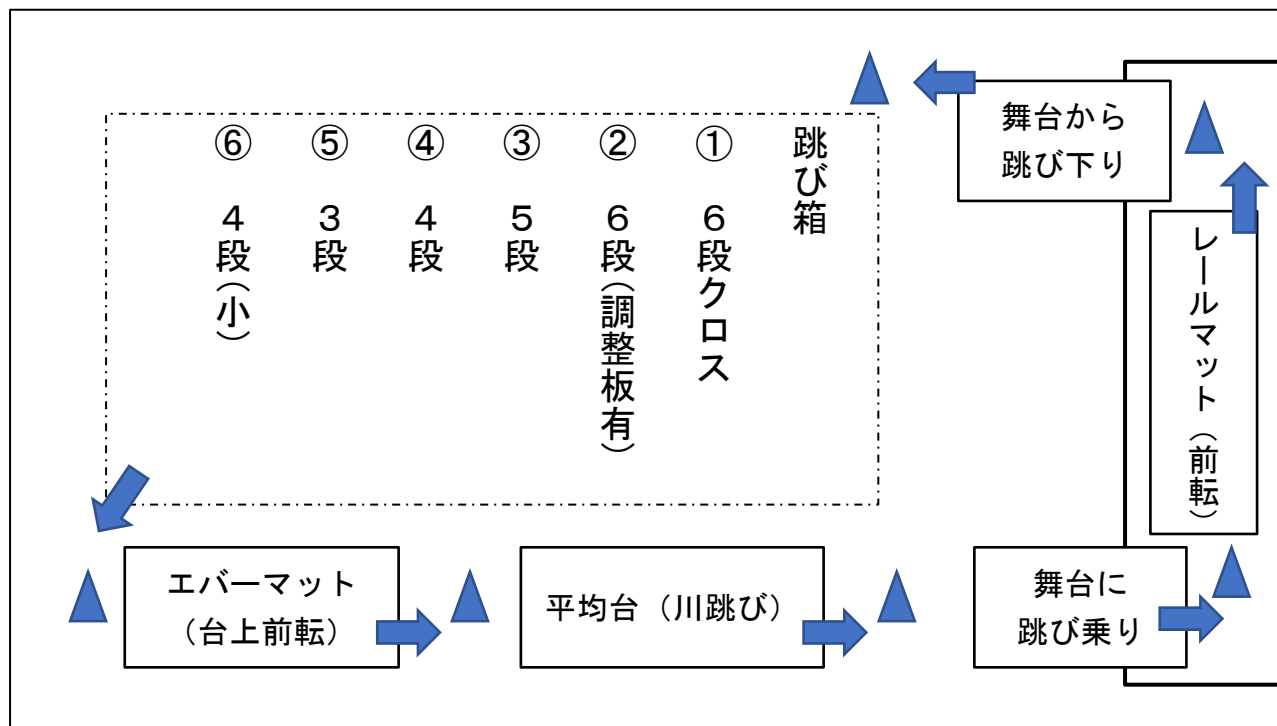
- ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（思考力, 判断力, 表現力等）

（2）本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点 ☆評価【評価方法】
導入 (5分)	1 場や器械・器具の準備をする。 2 本時のめあてを確認する。	○安全に気を付け、準備をするように声掛けをする。
	<div>㊟自分の課題に合った解決の仕方を見付け、切り返し系の技に取り組もう。</div> 3 準備運動、主運動につながる運動（じゃんけんすごろく）をする。	○準備運動では、これから使われる部位を意識しながら動かすよう声を掛ける。 ○主運動につながる運動では、じゃんけんすごろくを通して、楽しみながら体をたくさん動かすよう声を掛ける。
展開 (30分)	4 グループで今日取り組む技や課題を話し合う。 5 跳び箱運動の切り返し系の技に取り組む。（トリオ学習） <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題にあった活動場所を選ぶ。 ・タブレットを使って、授業始めの動画を撮影する。 ・同じ活動場所の仲間と協力して取り組み、アドバイスを伝え合う。 <div> ○予想される児童のつまづき <ul style="list-style-type: none"> ◆踏み切り→膝を伸ばす、両足で強く ◆着手の場所→手を奥に付くようにする ◆跳び越し→跳んだ後の足の位置 突き放し後の姿勢 ◆着地→足を閉じる、顎を上げる </div>	○自己の課題について、具体的に見てほしい部分や改善したい部分を仲間に伝えるよう声を掛ける。 ○児童の実態に合った活動場所を用意し、自分の課題に沿って場所を選ぶよう声を掛ける。 ○アドバイスをし合っている児童を称賛し、クラス全体が同じように取り組めるように声を掛ける。 ○ポイントを押さえて跳ぶことのできる児童を適宜取り上げ、クラス全体で共有できるようにする。 ○授業初めと終わりに自分が跳んでいる動画を撮り、1単位時間での自分の変容について見るよう促す。 ☆課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。【思考・判断・表現】（ワークシート）
まとめ (10分)	6 整理運動、場や用具の片付けをする。 7 本時の振り返り、次時への見通しをもつ。 8 集合、健康観察、挨拶をする。	○適切な整理運動を行うようにするとともに、けががないかなどを確認する。 ○ふり返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気づきや考えのよさを取り上げて、称賛する。

(3) 場の設定



※矢印は、じゃんけんすごろくの順番

(どこから始めてもよいが、反時計回りに順番に移動する)